

平成29年度大学コンソーシアムやまがた第3回事業評価委員会議事録

日 時：平成29年10月20日（金）15：00～15：45

場 所：ゆうキャンパス・ステーション

出席者：委員長 布施 一明（山形大学）

委 員 神田 直弥（東北公益文科大学）

瀬川 透（鶴岡工業高等専門学校）

鈴木 直克（放送大学山形学習センター）

中山 英夫（山形県立産業技術短期大学校）

遠田 達浩（山形県立農林大学校）

高橋 亘（山形県立保健医療大学）

佐藤 豊（山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学）

浜田 憲人（山形県）

菅原 邦生（山形工科短期大学校）

欠席者：委 員 高橋 寛（羽陽学園短期大学）

松村 茂（東北芸術工科大学）

佐藤 晃（東北文教大学・東北文教大学短期大学部）

陪席者：小座間優華理（山形県総務部学事文書課）

事務局：西田 靖子

会議に先立ち、事務局から出席者の変更及び陪席者の紹介があった。

議題

1 事業評価報告書（案）について

事務局から、資料1について説明があった。意見交換の後、委員長から今回の意見を反映させて最終版とさせていただきたい旨発言があった。また、資料1別紙の意見1、各事業の評価のランク付けA B C Dの使い方については、次回評価報告書を作成する際に見直し等検討していただくこととなった。

今回審議いただいた内容を修正し、早ければ今月中に幹事会委員長へ報告書を提出することです承された。

1) 目次 2. 平成29年度大学コンソーシアムやまがた事業評価等アンケート集計結果 P15 → P13に修正

2) P34 3男女共同参画シンポジウムの③に「講演内容の再考」を加える。

3) P36 6プロスポーツを活用した…の③バスケットボール、バレーボールもチームの正式名称を記載する。

4) P42 まとめ(3)山形県の進学率の向上 → 県内高校生の加盟機関への進学率の向上に修正する。

- 5) P 4 2 2負担金のあり方についての最後を「・・・評価は難しいと考えるが今後
も検討が必要である。」に修正する。
- 6) P 4 3 3まとめ(1)コンソーシアムの抱える課題が5年前の報告書の内容と
変わっていないため、修正を要する。
- 7) P 2 2評価スケジュールの幹事会報告日は報告書完成日とさせていただきます。

(主な意見交換の内容)

4. 各事業の評価について

- ・3男女共同参画シンポジウムの重要度評価に講演内容が則していないとあるので分
析に講演内容の再考を加えてはどうか。(瀬川委員)
- ・6プロスポーツを活用した・・・の③分析5行目にサッカーはモンテディオ山形と具
体的な名称が書いてあるので、バケットボール、バレーもチーム名もしっかり書いては
どうか。(高橋委員)
- ・正式名称を記載させていただきます。(委員長)
- ・2やまがた夜話の③分析に受講者層が固定されてきていると書いてあるが、ほぼ固定
の受講者しかいないのか。(高橋委員)
- ・時間帯もあり、ある程度引退した方とか、毎回参加する方がいるのである程度固定し
た方がいらっしゃる。毎回同じではなくテーマによって参加者は変わるが、ある程度同
じ方が来る。(委員長)
- ・12ホームページの管理・充実にHPのアクセス数や広報活動の成果とあるが、昔ア
クセスカウンターを付けてはいかがですかと申し上げたことがあり、その時に費用が
かかるんですと言われたことがあるが今はその点は大丈夫なのか。もう一点は長井と
いう遠方からの学校ということもあるが、13ゆうキャンパス・ステーションの充実と
書いてあるが若い方や高校生がどのくらい来てパンフレットをどの程度手にとって見
られているのか従前から知りたいと思っていた。ここに利点に対する評価もあっても
いいのではないか。(菅原委員)
- ・カウンターはホームページのトップページにつけると費用がかかるが、管理者のパス
ワードであれば確認できるようになった。パンフレットは全部なくなる程の高校生は
来ないが、オープンキャンパスや入試の時期になると保護者や高校生が来る。(事務局)
- ・アクセス数については管理者のパスワードで確認できるということですね。パンフレ
ットはどのくらいの人数が来るのか。費用負担も相関しているのではどのくらいくるの
か知りたい。(菅原委員)
- ・パンフレットは20～30部送付いただいているが、半分くらいは残ってしまう。今
はネットで資料を送ってくださいと言えはすぐ送ってくれる時代なので、足を運ぶよ
りは送ってもらう方が多いのかなという感じはする(事務局)
- ・アクセスカウンターですが、管理者がチェックできることであるのですが、カウ
ンターがあることでたくさんの方が見られてるんだなということが分かるので、良い
知恵があればお願いしたい。(菅原委員)

5. 負担金について

・大変分かりやすくてすばらしい内容かと思えます。特に一番最後の学生収容定員が・・・とあるが、私ども小規模校にとってはこういった文面を盛り込んでいただけてありがたい。ただ、全体の評価としては中程にあるように判断は非常に難しいということが最終的な評価だとは思う。まずはよろしいかと思う。(菅原委員)

まとめについて

・前回の評価と比べていたのだが、3まとめ(1)加盟機関が分散していてなかなか貢献ができないと前回と同じような表記がある。根本的な課題なのだろうと思うがこれを何とかしないと、というのは少し書きおろしてはどうかと思う。5年経っても何も変わっていない印象になる。(瀬川委員)

・同じまとめでは何なので、強調した形で表現させていただく。(委員長)

・P42 2負担金のあり方についてで、最後の「・・・評価は難しいと考える。」で結ばれているが、次の事を考えた場合、もし可能であれば「難しいと考えるが今後も検討が必要である。」と、確かに高額であるという機関も数校あるので一文入れてもいいのではないか。(菅原委員)

2 その他

特になし

以上、委員会終了。

【配付資料】

- 番号なし 事業評価委員会名簿
第2回事業評価委員会議事録（平成29年9月25日）
- 資料1 平成29年度事業評価報告書（素案）
- 資料1別紙 平成29年度事業評価報告書（素案）への意見等
- 参考資料1 大学コンソーシアムやまがた会則
- 参考資料2 平成24年度事業評価報告書（平成25年2月）

議事録署名人

山形大学教育・学生支援部学務課長

布施 一 明

